バイコン
vicon

産廃ゼロ・高強度

ISO9001認証（審査登録）
JIS Ⅱ類認証取得工場
愛知県リサイクル資材評価制度 あいくる材認定
神奈川県県土整備局建設リサイクル認定

台付管［標準2種・3種］・ダイマル管

NETIS登録　No. CB-210001-A　（高強度台付管　台付管3種）

アーボ株式会社

台付管［標準 2種 3種］・ダイマル管

道路縦横断部の排水管に最適な、高強度埋設管です

台付管・ダイマル管は振動と圧縮による合理的な成形製法（バイコン製法）で製造されています。

台付管　　ダイマル管

●JISⅡ類認証(JIS A5372)：台付管(標準φ300～φ1200･2種管･3種管)ダイマル管
●日本下水道協会規格(JSWAS A-9)の品質基準に準拠(標準φ250～φ1200)

台付管標準（従来管）よりさらに深い土被りで使用出来る２種管・３種管をラインナップ。

台付管の特徴

高強度

●T-25条件でも、コンクリート巻立が不要で、土被りが浅い場所から使用できます。
●土被りが深い場所でも、広範囲で使用できます。(標準・2種・3種)

施工性

管の底面が平らになっており、管を基礎上に並べて差し込むだけで据付・接合ができ、施工性に優れます。

耐久性

バイコン製法のため、中性化、磨り減り抵抗性、耐薬品性など耐久性が高く、構造物の長寿命化に寄与します。

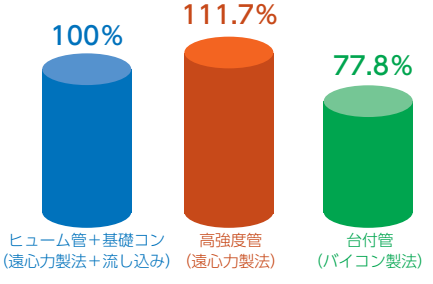
管種 (呼び径 600)	ヒューム管 (2 種)	高強度管 (遠心力製法)	台付管 (標準)
ひび割れ規格強度	49.1kN/m	61.8kN/m	73.6kN/m

経済性

●コンクリート巻立が不要で、工期短縮が可能です。
●同クラスの高強度管より軽量で、経済的です。

環境性

バイコン製法のため、セメントの使用量が少なく、蒸気養生を必要としないため、ヒューム管(コンクリート基礎を施工した場合)、同クラスの高強度管と比べ、大幅なCO_2削減が可能です。



セメント使用に係るCO_2排出量比較(呼び径600)

耐震性

レベル2地震動に対応しています。
(諸条件によっては、レベル1地震動対応になる場合があります。)

粗度係数

バイコン台付管内面の粗度係数は、実験によりn=0.013を確認しています。

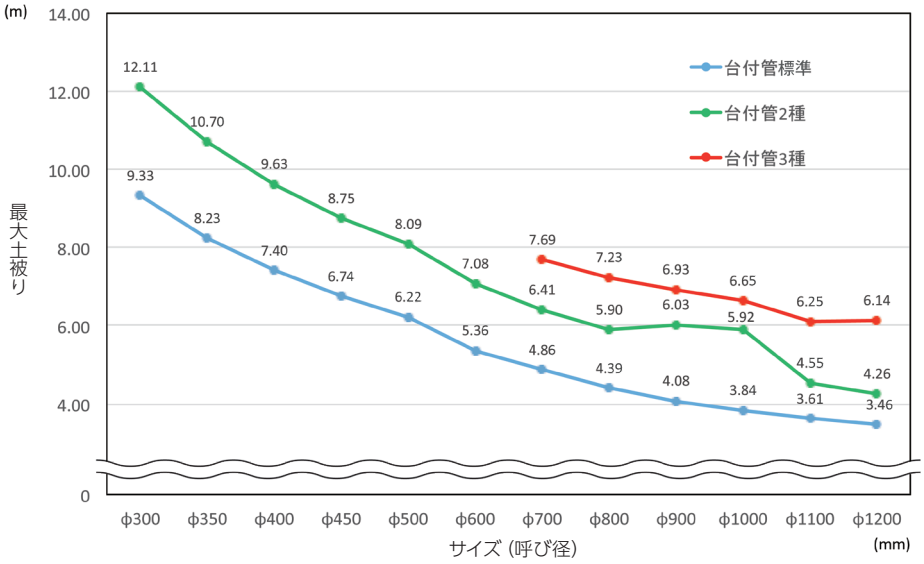
特徴の詳細は、こちらへ➡

製品ラインナップ

継手形状		VP			BZ						VP			BZ			VP			
内径 (mm)		150	200	250	300	350	400	450	500	600	700	800	900	1000	1100	1200	1350	1500	1650	1800
台付管	標準	○	○	○	◎	◎	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2種	–	–	–	◎	◎	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	–	–	–	–
	3種	–	–	–	–	–	–	–	–	–	○	○	○	○	○	○	–	–	–	–
ダイマル管		–	–	–	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	–	–	–
ベースプレート		適用製品 BP-340			適用製品 BP-520						適用製品 BP-670		適用製品 BP-860	適用製品 BP-1130			–	–	–	

※◎はオス・メス付半管あり。　※台付管2種・3種、ダイマル管は受注生産となります。

最大土被り比較（T-25 突出型ー砂質土の場合）



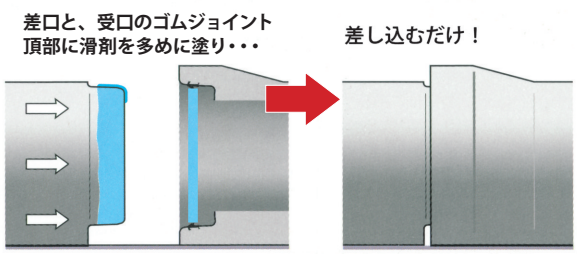
※土被りが浅い場合は、許容土被り範囲表でご確認ください。

施工方法（継手形状別）

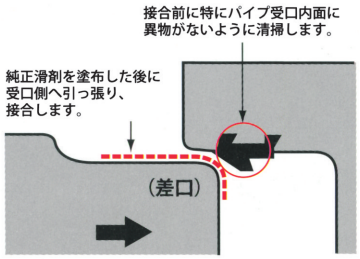
BZ管 (管の受口にゴム輪(BZガスケット)があらかじめ埋め込まれているタイプ)

▼高性能ゴムジョイント
(BZガスケット)

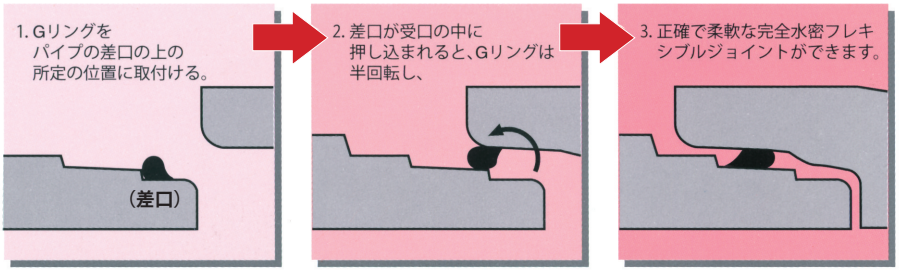
▼接合手順



▼接合方法の詳細



VP管 (施工時に差口にゴム輪(Gリング)を装着するタイプ)

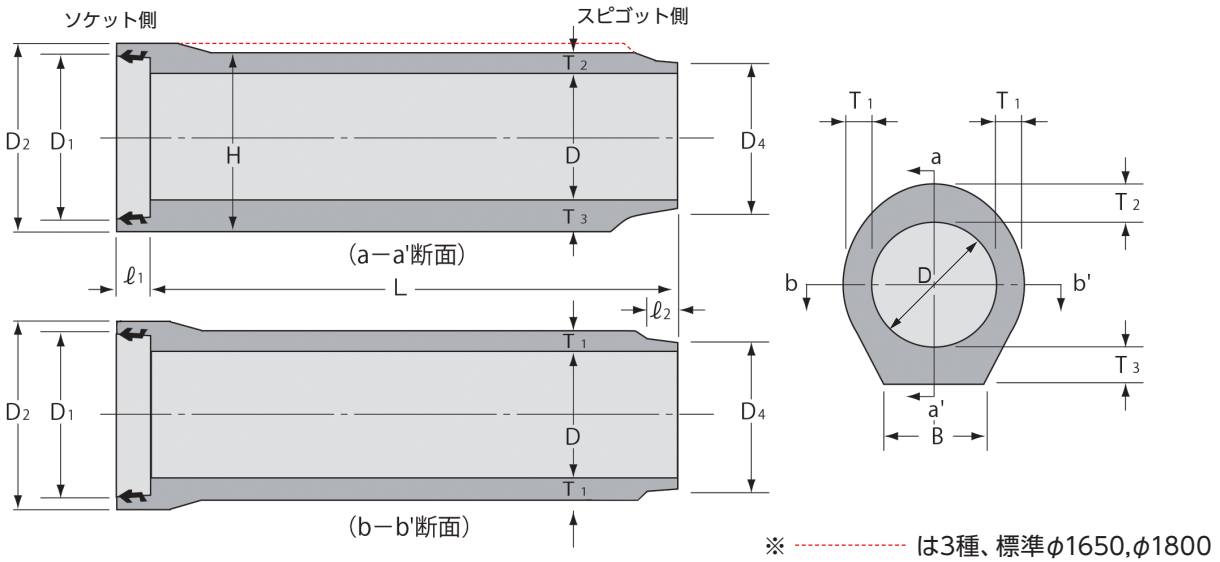


※Gリングタイプは滑剤を使用しません。

形状寸法

台付管（標準・2種・3種）

- JISⅡ類認証製品（標準φ300～φ1200・2種・3種）
- NETIS登録 CB-210001-A（台付管3種）



※ ---------- は3種、標準φ1650,φ1800

※2種・3種は高強度管

標準・2種 規格寸法表　　単位：mm

呼び名	内径	ソケット内径	ソケット外径	スピゴット外径	側部管厚	頂部管厚	底部管厚	管高	台幅	ソケット深さ	スピゴット長さ	有効長	参考重量 kg	
	D	D1	D2	D4	T1	T2	T3	H	B	ℓ1	ℓ2	L	標準	2種
VP - 150	150	214	270	198	33	48	60	258	120	60	69	1000	66	—
VP - 200	200	279	350	261	42	63	75	338	160	70	76	1000	113	—
VP - 250	250	342	418	324	45	70	84	404	200	69	74	2000	288	—
BZ(2) - 300	300	386	489	372	50	69	95	464	240	95	99	2000 (1000)	390 (214)	421 (231)
BZ(2) - 350	350	440	549	426	54	72	100	522	280	95	101	2000 (1000)	476 (249)	514 (269)
BZ(2) - 400	400	498	613	484	58	74	107	581	320	95	101	2500	720	777
BZ(2) - 450	450	556	677	542	62	96	114	660	360	95	105	2500	892	963
BZ(2) - 500	500	617	744	603	65	101	122	723	400	95	105	2500	1048	1132
BZ(2) - 600	600	727	866	713	71	110	133	843	450	95	105	2500 (1250)	1339 (687)	1446 (742)
VP(2) - 700	700	846	972	818	77	119	136	955	500	110	120	2500	1624	1754
VP(2) - 800	800	962	1098	933	83	129	149	1078	550	110	120	2500	1994	2153
VP(2) - 900	900	1080	1226	1046	89	138	163	1201	600	126	136	2500	2410	2609
BZ(2) -1000	1000	1184	1376	1164	95	147	188	1335	780	126	136	2500	3129	3379
BZ(2) -1100	1100	1300	1506	1276	101	157	203	1460	850	126	136	2000	3040	3283
BZ(2) -1200	1200	1412	1632	1388	107	166	216	1582	930	136	146	2000	3470	3747
VP -1350	1350	1588	1784	1556	116	180	217	1747	850	136	146	2500	4707	—
VP -1500	1500	1760	1980	1726	170	230	240	1970	1240	146	175	2500	7183	—
VP -1650	1650	1859	幅 2000 高さ 2205	1823	175	255	300	2205	1050	127	150	2500	7940	—
VP -1800	1800	2012	幅 2150 高さ 2355	1974	175	255	300	2355	1050	127	150	2500	8450	—

は、BZタイプ　　は、VPタイプ　　※(2)は2種。　　※有効長、参考重量の（　）は半管。

3種 規格寸法表

単位：mm

呼び名	内径	ソケット内径	ソケット外径	スピゴット外径	側部管厚	頂部管厚	底部管厚	管高	台幅	ソケット深さ	スピゴット長さ	有効長	参考重量 kg
	D	D_1	D_2	D_4	T_1	T_2	T_3	H	B	ℓ_1	ℓ_2	L	
VP3 - 700	700	846	972	818	88	136	136	972	500	110	120	2500	1913
VP3 - 800	800	962	1098	933	96	149	149	1098	550	110	120	2500	2355
VP3 - 900	900	1080	1226	1046	105	163	163	1226	600	126	136	2500	2926
BZ3 -1000	1000	1184	1352	1164	114	176	176	1352	650	126	136	2500	3506
BZ3 -1100	1100	1300	1506	1276	131	203	203	1506	850	126	136	2000	3614
BZ3 -1200	1200	1412	1632	1388	140	216	216	1632	930	136	146	2000	4170

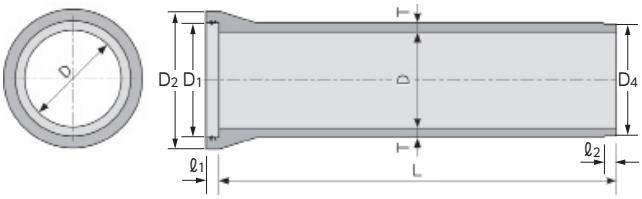
□ は、BZタイプ　□ は、VPタイプ

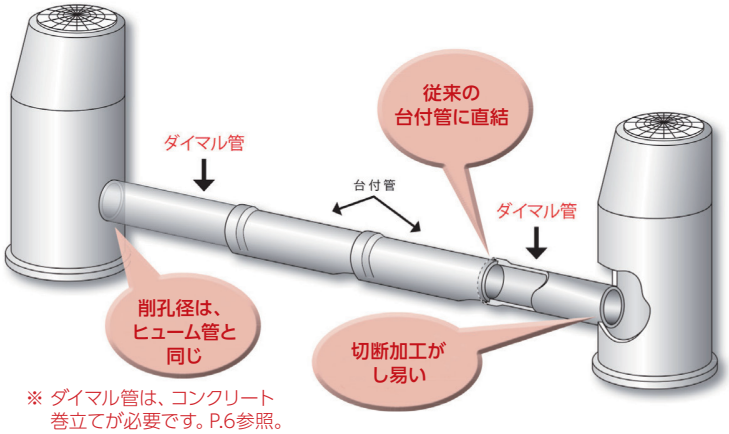
※BZ3-1000は、標準・2種と底部管厚が異なるため、敷モルタルで調整してください。

ダイマル管　JISⅡ類認証製品

●マンホール、桝等と台付管の接続管です。

●可とう継手にも対応しています。





※ ダイマル管は、コンクリート巻立てが必要です。P.6参照。

ダイマル管 規格寸法表

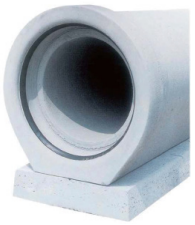
単位：mm

呼び名	内径	ソケット内径	ソケット外径	スピゴット外径	管厚	ソケット深さ	スピゴット長さ	有効長	参考重量 kg	取付け削孔径	削孔径と管のクリアランス
	D	D_1	D_2	D_4	T	ℓ_1	ℓ_2	L			
BZMR - 300	300	386	489	372	50	95	99	1000	143	420	10
BZMR - 350	350	440	549	426	54	95	101	1000	218	474	8
BZMR - 400	400	498	613	484	55	95	101	1250	289	530	10
BZMR - 450	450	556	677	542	58	95	105	1250	359	586	
BZMR - 500	500	617	744	603	62	95	105	1250	427	644	
BZM - 600	600	727	866	713	65	95	105	2500	940	760	15
VPM - 700	700	846	972	818	78	110	120	2500	1318	886	
VPM - 800	800	962	1098	933	86	110	120	2500	1663	1002	
VPM - 900	900	1080	1226	1046	95	126	136	2500	2063	1120	
BZM -1000	1000	1184	1352	1164	102	126	136	2500	2451	1234	
BZM -1100	1100	1300	1506	1276	108	126	136	2000	2400	1346	
BZM -1200	1200	1412	1632	1388	115	136	146	2000	2767	1460	

□ は、BZタイプ　□ は、VPタイプ

ベースプレート　JIS外品

均しコンクリートの代わりとしてご使用いただくと、養生期間を必要としないので工期短縮が図れます。



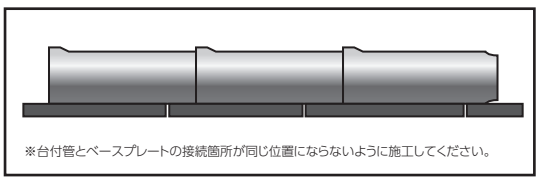
ベースプレート 規格寸法表

単位：mm

呼び名	適用サイズ	有効長	幅	厚さ	重量 kg
BP- 340	150～300	1500(740)	340	100	125(62)
BP- 520	350～500	2000(990)	520	100	250(124)
BP- 670	600～800	2000(990)	670	100	320(158)
BP- 860	900	2000(990)	860	150	611(303)
BP- 1130	1000～1350	2000(990)	1130	150	790(392)

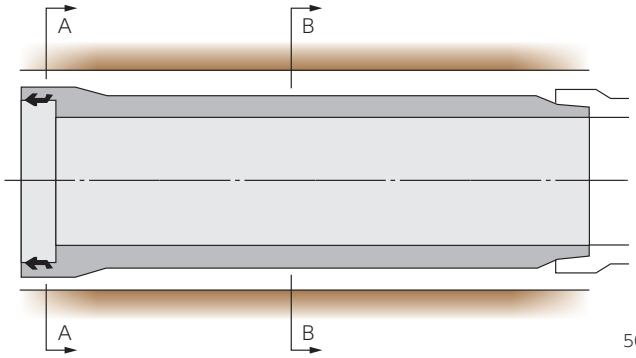
※（ ）は半丁物。

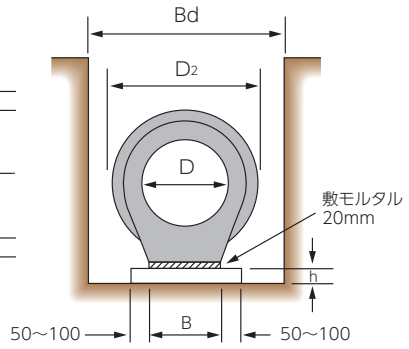
[連結状態での使用例]



※台付管とベースプレートの接続箇所が同じ位置にならないように施工してください。

布設寸法





台付管標準・２種　管の断面積及び土量・掘削幅の算定・基礎寸法表（参考）

呼び径 (mm) D	断面積(㎡)		排除する土量 (㎥)		掘削幅の算定(mm)					基礎寸法　10m当り(参考)			接合器具の引張容量
	ソケット外形 A-A	本体外形 B-B	1本当り	10m当り	ソケット外形 D2	腹起し材幅×2	余裕幅	小計	修正値 Bd	台幅 (mm) B	底幅 +200 mm	厚さ (mm) h	
150	0.058	0.044	ℓ=1000 0.047	0.47	270	300	100	670	700	120	320	150	0.5t程
200	0.096	0.073	ℓ=1000 0.080	0.80	350			750	750	160	360		
250	0.140	0.112	ℓ=2000 0.22	1.10	418			818	850	200	400		0.8t程
300	0.179	0.146	ℓ=2000 0.30	1.52	489			889	900	240	440		
350	0.228	0.189	ℓ=2000 0.39	1.97	549			949	950	280	480		
400	0.287	0.238	ℓ=2500 0.62	2.47	613			1013	1050	320	520		1.6t程
450	0.352	0.300	ℓ=2500 0.77	3.09	677			1077	1100	360	560		
500	0.429	0.363	ℓ=2500 0.94	3.74	744			1144	1150	400	600		
600	0.583	0.496	ℓ=2500 1.28	5.13	866	360	150	1376	1400	450	650		2.5t×2程
700	0.756	0.651	ℓ=2500 1.69	6.76	972			1482	1500	500	700		
800	0.964	0.829	ℓ=2500 2.16	8.62	1098			1608	1650	550	750		3.2t×2程
900	1.200	1.029	ℓ=2500 2.69	10.78	1226			1736	1750	600	800		
1000	1.524	1.289	ℓ=2500 3.29	13.17	1376			1886	1900	780	1080	200	
1100	1.830	1.542	ℓ=2000 3.18	15.89	1506	420		2076	2100	850	1050		
1200	2.145	1.817	ℓ=2000 3.76	18.78	1632			2202	2250	930	1130		
1350	2.538	2.191	ℓ=2500 5.55	22.21	1784			2354	2400	850	1050		4t×2程
1500	3.190	2.963	ℓ=2500 7.47	29.89	1980		250	2650	2650	1240	1440	250	
1650	3.489	3.489	ℓ=2500 8.72	34.89	2000			2670	2700	1050	1250		
1800	3.985	3.985	ℓ=2500 9.96	39.85	2355			3025	3050	1050	1250		
備考										条件によりコンクリート基礎を施工			

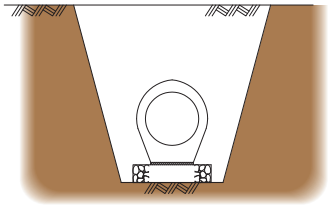
台付管３種　管の断面積及び土量・掘削幅の算定・基礎寸法表（参考）

700	0.756	0.678	ℓ=2500 1.71	6.85	972	360	150	1482	1500	500	700	150	2.5t×2程
800	0.964	0.865	ℓ=2500 2.19	8.74	1098			1608	1650	550	750		
900	1.200	1.078	ℓ=2500 2.73	10.90	1226			1736	1750	600	800		
1000	1.458	1.312	ℓ=2500 3.32	13.27	1352			1862	1900	650	850	200	3.2t×2程
1100	1.830	1.643	ℓ=2000 3.34	16.68	1506	420		2076	2100	850	1050		
1200	2.145	1.939	ℓ=2000 3.94	19.70	1632			2202	2250	930	1130		
備考										条件によりコンクリート基礎を施工			

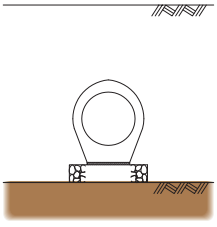
※基礎寸法は国土交通省土木構造物標準設計１(側溝類・暗渠類)に準ずる。　※鋼矢板の場合 … 修正値＋ 200㎜

溝型と突出型の識別

溝型



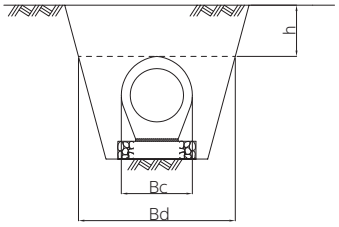
突出型



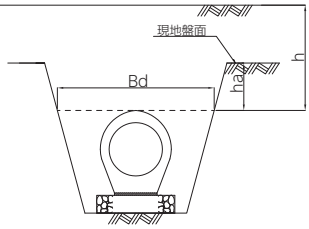
注)矢板を使用しない場合
また、矢板引き抜きを行わない場合

施工要領書のダウンロードは、こちら➡

突出型とする場合



(a)　溝が広い場合（Bd≧2Bc）
またはhがBd/2以下の場合



(b)haがBd/2以下の場合

許容土被り範囲

●土被り範囲はカルバート工指針(平成21年度版)に準拠して計算しています。
●溝型の土被りは矢板引き抜きを考慮していません。条件が異なる場合はご相談ください。
●土被りは製品胴体部で計算していますが、最小土被りはソケット頂部からの土被りとしてご検討ください。

台付管 標準（T-25　安全率 Fa=1.25 土の単位体積重量　砂質土γ =19KN/m³ 粘性土γ =18KN/m³）　単位：m

呼び径	溝型		突出型		呼び径	溝型		突出型	
	砂質土	粘性土	砂質土	粘性土		砂質土	粘性土	砂質土	粘性土
150	0.04 ～ 10.00	0.04 ～ 10.00	0.04 ～ 10.00	0.04 ～ 10.00	800	0.23 ～ 7.95	0.23 ～ 8.41	0.23 ～ 4.39	0.23 ～ 3.62
200	0.04 ～ 10.00	0.04 ～ 10.00	0.04 ～ 10.00	0.04 ～ 9.90	900	0.26 ～ 7.27	0.26 ～ 7.69	0.26 ～ 4.08	0.26 ～ 3.35
250	0.04 ～ 9.75	0.04 ～ 8.10	0.04 ～ 9.75	0.04 ～ 8.10	1000	0.29 ～ 6.75	0.29 ～ 7.14	0.29 ～ 3.84	0.29 ～ 3.15
300	0.05 ～ 17.89	0.05 ～ 18.89	0.05 ～ 9.33	0.05 ～ 7.77	1100	0.32 ～ 6.21	0.32 ～ 6.58	0.32 ～ 3.61	0.32 ～ 2.95
350	0.07 ～ 15.71	0.07 ～ 16.59	0.07 ～ 8.23	0.07 ～ 6.86	1200	0.35 ～ 5.83	0.35 ～ 6.18	0.35 ～ 3.46	0.35 ～ 2.83
400	0.09 ～ 14.05	0.09 ～ 14.84	0.09 ～ 7.40	0.09 ～ 6.16	1350	–	–	0.37 ～ 3.45	0.37 ～ 2.80
450	0.11 ～ 12.73	0.11 ～ 13.45	0.11 ～ 6.74	0.11 ～ 5.60	1500	–	–	0.29 ～ 4.15	0.29 ～ 3.40
500	0.13 ～ 11.70	0.13 ～ 12.36	0.13 ～ 6.22	0.13 ～ 5.16	1650	–	–	0.33 ～ 4.00	0.33 ～ 3.20
600	0.16 ～ 9.97	0.16 ～ 10.53	0.16 ～ 5.36	0.16 ～ 4.44	1800	–	–	0.36 ～ 3.70	0.36 ～ 3.10
700	0.19 ～ 8.94	0.19 ～ 9.44	0.19 ～ 4.86	0.19 ～ 4.02					

台付管 2 種（T-25　安全率 Fa=1.25 土の単位体積重量　砂質土γ =19KN/m³ 粘性土γ =18KN/m³）　単位：m

呼び径	溝型		突出型		呼び径	溝型		突出型	
	砂質土	粘性土	砂質土	粘性土		砂質土	粘性土	砂質土	粘性土
300	0.04 ～ 23.28	0.04 ～ 24.58	0.04 ～ 12.11	0.04 ～ 10.10	700	0.12 ～ 11.86	0.12 ～ 12.52	0.12 ～ 6.41	0.12 ～ 5.32
350	0.04 ～ 20.50	0.04 ～ 21.65	0.04 ～ 10.70	0.04 ～ 8.93	800	0.14 ～ 10.79	0.14 ～ 11.40	0.14 ～ 5.90	0.14 ～ 4.89
400	0.04 ～ 18.37	0.04 ～ 19.39	0.04 ～ 9.63	0.04 ～ 8.03	900	0.14 ～ 10.94	0.14 ～ 11.56	0.14 ～ 6.03	0.14 ～ 5.01
450	0.06 ～ 16.60	0.06 ～ 17.55	0.06 ～ 8.75	0.06 ～ 7.29	1000	0.15 ～ 10.64	0.15 ～ 11.24	0.15 ～ 5.92	0.15 ～ 4.91
500	0.07 ～ 15.31	0.07 ～ 16.16	0.07 ～ 8.09	0.07 ～ 6.75	1100	0.23 ～ 7.94	0.23 ～ 8.40	0.23 ～ 4.55	0.23 ～ 3.75
600	0.10 ～ 13.26	0.10 ～ 14.00	0.10 ～ 7.08	0.10 ～ 5.89	1200	0.26 ～ 7.31	0.26 ～ 7.73	0.26 ～ 4.26	0.26 ～ 3.51

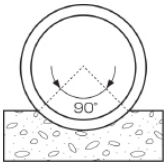
台付管 3 種（T-25　安全率 Fa=1.25 土の単位体積重量　砂質土γ =19KN/m³ 粘性土γ =18KN/m³）　単位：m

呼び径	溝型		突出型		呼び径	溝型		突出型	
	砂質土	粘性土	砂質土	粘性土		砂質土	粘性土	砂質土	粘性土
700	0.09 ～ 14.30	0.08 ～ 15.11	0.09 ～ 7.69	0.09 ～ 6.41	1000	0.12 ～ 11.97	0.12 ～ 12.65	0.12 ～ 6.65	0.12 ～ 5.52
800	0.10 ～ 13.32	0.10 ～ 14.07	0.10 ～ 7.23	0.10 ～ 6.02	1100	0.14 ～ 11.10	0.14 ～ 11.73	0.14 ～ 6.25	0.14 ～ 5.19
900	0.11 ～ 12.63	0.11 ～ 13.34	0.11 ～ 6.93	0.11 ～ 5.76	1200	0.14 ～ 10.78	0.14 ～ 11.39	0.14 ～ 6.14	0.14 ～ 5.10

ダイマル管（T-25　安全率 Fa=1.25 土の単位体積重量　砂質土γ =19KN/m³ 粘性土γ =18KN/m³）　単位：m

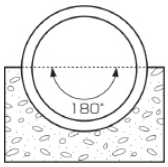
コンクリート 90°巻（k=0.303）

呼び径	溝型		突出型		施工要領
	砂質土	粘性土	砂質土	粘性土	
300	0.09 ～ 13.90	0.09 ～ 14.68	0.09 ～ 7.30	0.09 ～ 6.08	90°コンクリート基礎
350	0.13 ～ 11.30	0.13 ～ 11.94	0.13 ～ 5.99	0.13 ～ 4.96	
400	0.17 ～ 9.79	0.17 ～ 10.35	0.17 ～ 5.22	0.17 ～ 4.31	
450	0.20 ～ 8.69	0.20 ～ 9.19	0.20 ～ 4.66	0.20 ～ 3.84	
500	0.22 ～ 8.05	0.22 ～ 8.51	0.22 ～ 4.35	0.22 ～ 3.58	
600	0.40 ～ 5.08	0.40 ～ 5.39	0.40 ～ 2.80	0.41 ～ 2.24	
700	0.37 ～ 5.37	0.37 ～ 5.70	0.38 ～ 3.03	0.38 ～ 2.45	
800	0.41 ～ 4.96	0.41 ～ 5.27	0.41 ～ 2.87	0.42 ～ 2.30	
900	0.43 ～ 4.76	0.43 ～ 5.06	0.43 ～ 2.82	0.44 ～ 2.26	
1000	0.47 ～ 4.40	0.47 ～ 4.69	0.48 ～ 2.69	0.48 ～ 2.15	
1100	0.52 ～ 4.06	0.51 ～ 4.33	0.52 ～ 2.56	0.53 ～ 2.04	
1200	0.55 ～ 3.82	0.54 ～ 4.08	0.56 ～ 2.50	0.56 ～ 1.98	



コンクリート 180°巻（k=0.220）

呼び径	溝型		突出型		施工要領
	砂質土	粘性土	砂質土	粘性土	
300	0.05 ～ 19.27	0.05 ～ 20.35	0.05 ～ 10.07	0.05 ～ 8.40	180°コンクリート基礎
350	0.07 ～ 15.72	0.07 ～ 16.61	0.07 ～ 8.27	0.07 ～ 6.89	
400	0.09 ～ 13.68	0.09 ～ 14.45	0.09 ～ 7.24	0.09 ～ 6.02	
450	0.11 ～ 12.18	0.11 ～ 12.87	0.12 ～ 6.50	0.11 ～ 5.39	
500	0.13 ～ 11.32	0.13 ～ 11.96	0.13 ～ 6.07	0.13 ～ 5.03	
600	0.25 ～ 7.37	0.25 ～ 7.80	0.25 ～ 4.04	0.25 ～ 3.32	
700	0.23 ～ 7.75	0.23 ～ 8.20	0.23 ～ 4.31	0.23 ～ 3.54	
800	0.26 ～ 7.22	0.26 ～ 7.64	0.26 ～ 4.08	0.26 ～ 3.35	
900	0.27 ～ 6.95	0.27 ～ 7.36	0.27 ～ 4.00	0.27 ～ 3.28	
1000	0.29 ～ 6.51	0.29 ～ 6.89	0.29 ～ 3.82	0.29 ～ 3.13	
1100	0.32 ～ 6.07	0.32 ～ 6.43	0.32 ～ 3.64	0.32 ～ 2.98	
1200	0.34 ～ 5.78	0.34 ～ 6.13	0.34 ～ 3.54	0.34 ～ 2.90	



※コンクリート180° 巻で対応できない場合は、コンクリート360° 巻での対応となります。

積算基準

●φ200～φ1200　『国土交通省土木工事積算基準(排水構造物工)』(施工パッケージ型積算基準) に準拠します。
●φ150、φ1350、φ1500、φ1650、φ1800　実績に基づく『全国バイコン協会歩掛』を定めています。

管据付歩掛表（10m 当り）

呼び名	世話役(人)	特殊作業員(人)	普通作業員(人)	バックホウ運転(h)	ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料(日)	基礎砕石費率(%)	諸雑費率(%)
150	0.2	0.1	0.4	2.1	–	16	7
1350	0.8	0.5	1.5	–	0.5	16	7
1500							
1650							
1800							

※1　バックホウ規格：排ガス対策型　クローラ型　山積0.45m³(平積0.35m³) 2.9t吊
※2　ラフテレーンクレーン規格：排ガス対策型　油圧伸縮ジブ型25t吊
※3　運搬距離30m程度までの小運搬を含むものであり、床掘、埋戻し、残土処理は含まない。
※4　基礎砕石費、諸雑費は、労務費と機械運転経費の合計に諸雑費率を乗じた金額を計上する。
①基礎砕石費は、敷設、転圧労務、材料投入、締固め機器運転経費、砕石材料費を含む。
②諸経費は、緊結用器具、コンクリートカッタ運転経費、目地モルタル、鉄筋コンクリート台付管損失分の費用、カッタブレードの損耗費を含む。
※5　基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準とし、これにより難い場合は別途計上する。

垣

アーボ株式会社

●本社工場
〒501-1314 岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲名礼459番地
TEL：0585-55-2216（代表）　FAX：0585-55-2218
Email:tanigumi@ahbo.co.jp

●大垣営業所　●大阪営業所　●関東営業所

www.ahbo.jp

Email:ahbo@ahbo.co.jp

バイコン vicon
全国バイコン協会会員

2024.4